

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		美術館検討委員会(第1回)				
事務局 (担当課)		市民活力推進部文化国際課 電話042-769-8202(直通)				
開催日時		平成20年2月14日(木) 15時00分~17時15分				
開催場所		市役所本庁舎 2階 第1特別会議室				
出席者	委員	11人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	6人(市民活力推進部長、文化国際課長、他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 自己紹介 3 美術館検討委員会設置要綱について 4 委員長・副委員長の選出 5 議 題 (1) 会議の公開について (2) 相模原市の概要について (3) 美術館建設予定地について (4) 美術館を取り巻く状況について ・これまでの検討経過について ・美術環境について ・収蔵美術品について (5) 今後のスケジュールについて 6 その他 7 閉 会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〇 は委員の発言、 △ は事務局の発言 )

### 1 開 会

相模原市市民活力推進部長あいさつ

### 2 自己紹介

各委員が自己紹介をするとともに、事務局職員も自己紹介をした。

### 3 美術館検討委員会設置要綱について

資料1に基づき、事務局から説明を行った。

質疑等は特になかった。

### 4 委員長・副委員長の選出

委員の互選により、稲木委員を委員長に、古田委員を副委員長に選任した。

### 5 議 題

#### ( 1 ) 会議の公開について

事務局から趣旨等について説明を行い、今後、検討委員会は公開していくこととなった。

#### ( 2 ) 相模原市の概要について

資料2に基づき、事務局から説明を行った。

質疑等は特になかった。

#### ( 3 ) 美術館建設予定地について

資料3に基づき、事務局から説明を行った。

裏面図の研究開発施設とは何か。

デュプロという会社の研究施設である。その近くには小山公園・スポーツゾーンがあり、若者に人気があるエリアである。

建設予定地周辺の工事の進捗状況は。

現在は開発行為に伴う工事として、土地の整地と道路等の整備が進められている。

予定地が橋本駅から遠いが、美術館への動線はどうなっているのか。動く歩道等、美術館に入りやすい配慮が必要である。

美術館への動線については、隣接する商業施設と連携していく必要がある。

また、美術館建設時には入口をどこにする等の検討が必要である。

位置が悪くて来場者が少ないのは困る。美術館建設予定地について変更は可能なのか。

美術館の用地は「公益施設用地」を予定しており、位置の変更はできない。

地下道の建設予定があると聞いたが、そのような予定があるのか。

JR 相模線の下を市道大山氷川線が通る予定である。

世田谷美術館は駅から遠いが、美術館に至る導線には歩くのが楽しくなる工夫

がある。そのような工夫は今後考えていく必要がある。

庁内においても美術館への導線については担当部門と調整をしている。美術館建設予定地の近隣施設の想定ができないと具体案が出しにくい。情報は提供してもらえるのか。

すべての情報が得られる訳ではないが、得られた場合には情報提供をする。市民ギャラリーには駐車場がなく、小学生はバスで行くことができない。バスが入れる駐車場を検討していただきたい。

同感である。子どもたちが美術館に行くにはバスによる送迎が必要である。駅からの導線も大切であるが、バスの駐車場確保も検討いただきたい。

来客者の駐車場については、商業施設の駐車場を使用させてもらうことを考えており、バスの駐車場についても求めていきたい。

美術館は、美術品の搬入をするため、大型トラックの駐車スペースが必要となるので、搬入がなければ、そのスペースにバスを止めることが可能である。バスの駐車場は、真剣に考える必要がある。半径 1.5 km は徒歩圏であるが、それ以上になるとバスが必要になる。世田谷美術館では、鑑賞教室を行うために、バスの駐車スペースを確保した。

横須賀美術館は、バス 5 台の駐車スペースを想定した。

駐車スペースの確保は大変困難なことだが、市内の学校から多くの児童・生徒がバスで来場することを想定した方が良い。子どもの情操教育、視覚障害者等を対象とした事業を考えると、バスの駐車スペースは不可欠である。

屋外の展示は計画しないのか。敷地いっぱい建物を建設すると屋外展示のスペースがなくなってしまうが。

藤野方面には、オープンミュージアム構想がある。検討委員会には、建設予定地だけでは完結しない美術館を検討していただきたい。また、屋上を利用した屋外展示のようなスペースを設けるなどのアイデアも検討できる。

さまざまな意見が出されたので、今後の検討につなげたい。本議題は、ここまですべてとして、次の議題に入る。

#### (4) 美術館を取り巻く状況について

資料 4～6 に基づき、事務局から説明を行った。

女子美術大学と市の間で、協定が結ばれているはずだが。

平成 13 年に女子美術大学と市との間で「文化促進協定」を結んでおり、女子美術大学アート事業など様々な局面で互いに協力をしている。

相模原市の「さがみ風っ子展」なども女子美術大学のアートミュージアムで開催していることもある。

女子美術大学の生徒が市内の小中学校で指導することもあり、交流がある。

多摩美術大学は市外ではあるが、生徒の 8 割が橋本駅を利用しており、相模原

市とは関係が深い。

市の地形は細長い。例えば、相模大野の場合、市役所に行くのも大変であるが、美術館建設予定地はなおさら遠い。相模大野は新宿の方が出やすいくらいだ。

美術館は市内の来館者だけを期待するわけにはいかない。交通費を払ってでも行きたくなる美術館にしないと多くの来客は見込めない。

美術館の予定地まで、橋本駅から歩いてどのくらいか。

直線距離は約800mだが、歩くと15分程度はかかるのではないか。

実際に見たり触れたりする美術館であり、子どもを主体とした美術館にしなくてはならない。子どもが行きたければ、親も一緒に来るのではないか。

集客には、新聞・マスコミなどのメディアを積極的に利用する必要がある。市民ギャラリーで展覧会をした際に、新聞報道でかなりの集客ができた。マスコミの力は大きい。

作品で集客しようとしても1度見てしまえば、なかなか訪れないだろう。大人も子どもも行きたいと思う空間にしなければならない。あるデパートに空中庭園があり、小川と彫刻は数点ある程度の場所であったが、大人たちはお茶や食事をしたりして、子どもたちは車も来ないので安心して、長い時間飽きずに遊んでいた。大人も子どももそれぞれに楽しめる空間が必要である。

最近でも相模原市の人口は増加傾向なのか。

今後、10年は人口が増え続けると想定している。高齢化率は約17%で、平均年齢が41歳なので若い街と言える。

今後も少しずつ検討を重ねていかなければならない。今後の検討委員会のスケジュールについて説明いただきたい。

#### (5) 今後のスケジュールについて

資料7に基づき、事務局から説明を行った。

次回の検討委員会はいつにするのか。

この場で日程調整をしていただきたい。

[各委員の都合を出し合い日程調整を行った]

次回は3月25日午後3時から開催する。場所は、後日連絡する。

5月15日に、文化振興プランの検討委員と合同で、美術館建設予定地などのバス見学を計画している。文化振興プランの検討委員会との調整を行い、後日見学場所など日程を周知する。

議題は以上だが、その他について何かあるか。

#### 6 その他

確認しておきたいが、検討委員会の位置づけはどうなるのか。ここで話し合われた内容は美術館設立にどのような形で反映されるのか。

最終的に委員の意見をまとめて、市長に提出していただくことになる。

検討委員の皆さんには、基本的な方針を示していただくので、検討委員会の提言は重いものになる。市長の意見を検討委員会に伝えることもあるが、検討委員会で自主的に方針を示してもらいたい。なお、最終的に提言書になるか、報告書になるかは定まっていない。

市の予算等は示してもらえるのか。

委員の皆さんには、予算や基金なども含めて考えてもらい、提言をしていただきたいと考えている。

指定管理や直営などの運営形態と運営組織などについても考えるのか。

そこまで考える時間があるかどうか分からないが、課題のひとつである。できれば提言などに盛り込んでいけると良いのではないか。

委員の期間は1年程に限られているので、予算や運営形態を含めて検討できるのか。大まかな提案だけして終わってしまう心配はないか。

時間をかけられれば良いが、美術館の建設も商業施設の建設に合わせて早めに行わなければならない。

事務局のほうでモデルとなる美術館の建設費・面積等のたたき台になる資料を作ってもらえるのか。具体的な議論がしやすいのではないか。

近隣の美術館の規模や建設資金等の参考となる数字や資料を示して、どのくらいの規模のものがどのくらいの予算・建築面積で建設できるのかという概算モデルは、次回までに提示できると思う。

現段階では美術館の予算は決まっていない。検討委員会の提言をもとに考えていく。

費用は安くても機能的な美術館にしてほしい。無駄を排して合理的な美術館にするべきである。

本日の検討委員会はここまでとします。

## 美術館検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	生 嶋 な ぎ	公募委員		出席
2	石 野 克 彦	公募委員		出席
3	稲 木 吉 一	女子美術大学	教 授	出席
4	上 條 陽 子	市民の美術館を考える会	代 表	出席
5	清 水 哲 朗	東京造形大学	教 授	出席
6	陶 山 定 人	相模原芸術家協会	会 長	出席
7	高 橋 直 裕	世田谷美術館	学芸員	出席
8	原 田 光	横須賀美術館	副館長	出席
9	古 田 亮	東京藝術大学	准教授	出席
10	松 本 美代子	市立緑ヶ丘中学校	校 長	出席
11	森 脇 裕 之	多摩美術大学	准教授	出席